

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.9</b>	0.15	<b>2.9</b>	1.00			<b>2.9</b>
1.1 騒音		3.0	0.48	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.48	2.8	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	0.91	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		2.0	0.04	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	共用:保育室でLr値=50	5.0	0.02	2.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	共用:保育室でLr値=55	4.0	0.02	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.04					
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.6</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.6</b>
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.0	1.00			
1 室温		3.0	0.62	-	-			
2 外皮性能		1.0	0.36	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.02	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.0</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00			<b>3.4</b>
3.1 昼光利用		1.8	0.31	4.0	0.50			
1 昼光率	住居部:7.72%	1.0	0.56	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.44	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		1.0	0.28	4.0	0.50			
1 昼光制御	住居部:カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御	1.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.14	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.27	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.5</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.58	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.38	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.48	3.0	0.33			
2 自然換気性能	共用:保育室1/15以上	5.0	0.03	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.48	3.0	0.33			
4.3 運用管理		1.0	0.04	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>1.6</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	Gbitクラスのプロードバンド利用可能	-	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		1.0	0.09	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		2.0	0.02	-	-			
3 内装計画		1.0	0.89	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30					<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3を取得済み	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	LD:床フローリング(t12),壁ビニールクロス(PBt12.5),天井ビニールクロス(PBt9.5)	4.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VLP(B),汚水排水VP(B),雑排水VP(B),Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		4.0	0.20	-	-		
3	対応性・更新性		3.0	0.20	-	-			
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		2.8	0.30	2.3	1.00	2.4	
	2	空間の形状・自由さ		1.8	0.06	1.6	0.50		
				1.0	0.60	2.0	0.60		
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.40	1.0	0.40		
				2.0	0.06	3.0	0.50		
	3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性		3.0	0.88	-	-	
		2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
		3	電気配線の更新性		3.0	0.20	-	-	
		4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
		5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
		6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
		Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0		
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0		
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0		
		3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-			
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2		
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.6		
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI <sub>m</sub> =0.86	3.1	0.20	-	-	3.1		
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0		
3	設備システムの高効率化	BEI <sub>m</sub> 非住宅 0.83 住宅(専有部) 0.93	4.4	0.50	-	-	4.4		
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI <sub>m</sub> =0.86、LED照明の採用	4.0	0.20	-	-		
		集合住宅の評価(3c)	LED照明の採用	4.5	0.80	-	-		
4	効率的運用	集合住宅以外の評価	2.8	0.20	-	-	2.8		
		4.1 モニタリング	2.0	0.20	-	-			
	4.2 運用管理体制	集合住宅の評価	3.0	0.50	-	-			
		4.1 モニタリング	1.0	0.50	-	-			
	4.2 運用管理体制	集合住宅の評価	3.0	0.80	-	-			
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-			
	4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-				
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8		
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0		
1.1	節水		3.0	0.40	-	-			
			3.0	0.60	-	-			
		1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用	2 雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-			
			2.8	0.60	-	-	2.8		
2	非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減	2.0	0.10	-	-			
		2.2 既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-			
		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-			
		2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-			
		2.5 持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.10	-	-			
		2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	5.0	0.20	-	-			
		躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用し、GL工法も採用している	3.0	0.20	-	-	3.0		
3	汚染物質含有材料の使用回避	3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	-			
		3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-		
			1 消火剤	-	-	-	-		
		2 発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-			
		3 冷媒	3.0	0.50	-	-			
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0		
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=86%	3.5	0.33	-	-	3.5		
2	地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8		
		2.1 大気汚染防止	3.0	0.25	-	-			
		2.2 温熱環境悪化の改善	3.0	0.50	-	-			
		2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-		
			1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-		
			2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-		
			3 交通負荷抑制	2.0	0.25	-	-		
		4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-			
3	周辺環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8		
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-			
		1 騒音	3.0	1.00	-	-			
		2 振動	-	-	-	-			
		3 悪臭	-	-	-	-			
		3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-		
			1 風害の抑制	3.0	0.70	-	-		
			2 砂塵の抑制	1.0	-	-	-		
		3 日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-			
		3.3 光害の抑制			2.3	0.20	-	-	
				1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-					